

# スポーツ・イベントの魅力を倍増する スポーツグラフィックスシステムOrad MVP

～運用性が高く種目を選ばないスポーツグラフィックスシステムが映像の価値を向上～

Orad MVP ユーザー事例：

スカパーJSAT株式会社 様

**ORAD**  
Mastering VideoGraphics

統合ビデオ&グラフィックスソリューション

## スカパーJSAT株式会社 / 株式会社スカパー・ブロードキャスティングについて

「スカパーJSAT株式会社」

放送と通信の分野でトップを走り続けてきたパイオニアたちが集まり、2008年10月に誕生した、日本で唯一、アジア最大の有料多チャンネル放送・衛星通信事業者です。

「株式会社スカパー・ブロードキャスティング」

スカパーJSATグループ企業として通信衛星を利用したPPV(ペイ・パー・ビュー)放送サービス及び電気通信役務利用法における役務事業とデジタル衛星放送及びケーブルテレビ局向け番組供給事業、携帯電話向けのコンテンツ企画・制作から提供、その関連事業を展開しています。

スカパーJSAT株式会社  
技術運用本部放送技術部  
アシスタントマネージャー  
岩脇 真士 様



株式会社スカパー・ブロードキャスティング  
制作本部制作部  
部長代行  
吉澤 篤実 様



## 導入の経緯

アジア最大の有料チャンネル放送サービスを展開するスカパーJSAT株式会社様(代表取締役 執行役員社長 高田 真治 本社:東京都港区)は、主要コンテンツであるスポーツ番組をより魅力あるものにする為に、ビジュアル・グラフィックス株式会社(代表取締役社長:関本 晃靖 本社:東京都渋谷区)が総代理店を務めるOrad社(本社:イスラエル)のスポーツグラフィックスシステムMVPを同社のスカパー東京メディアセンターに導入しました。MVPは、Orad社が誇る最新の画像処理技術により、あらゆるスポーツ映像に魅力的且つ有効な視覚効果を付加するシステムで、ワールドワイドで主要なTV局、ケーブルTV事業者への多数の導入実績を持つ革新のシステムです。

「多彩な放送コンテンツの中でも重要なプログラムであるスポーツ放送に於いてより魅力的な映像を提供したいという目的のもとスポーツグラフィックスシステムを調査、比較し、その中でも制作面での操作性、運用性、保守性に優れたシステムという点にポイントを置いてを検討をしてきました。」(岩脇氏)



スカパー東京メディアセンター

## 導入のポイント

Orad社の提供するMVPは、ビデオ・グラフィックス統合型スポーツグラフィックスシステムとしてスローモーションサーバーと連携してビデオ素材にテレストレータ、ハイライト、ストロボキャプチャ効果などのグラフィックス視覚効果を画像処理ベース(特許)のカメラトラッキングと共に使用可能にしたセンサーレスのスポーツグラフィックスシステムです。スタジオから中継車での運用までエフェクトだけでなくゲームの解析ツールとしても幅広く使用可能です。32台までのカメラビューをサポートし、ワンマンオペレーションでの運用が可能な簡易な操作性と相まってあらゆるイベントの視覚効果を高めます。

「これまでに数多くのサッカー番組を行ってまいりましたが、視聴者に対してひと味違う形のサッカー解説を試みたいと検討した結果、本システムを採用する運びとなりました。」(吉澤氏)

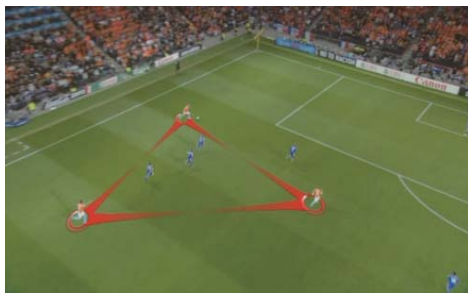
MVPは、システムソリューションとしてビデオサーバー、CGエフェクト、ビデオとCGの合成を統合されたGUIにより各機能を密に連携して運用可能な為、運用までに要するシステムの習得期間も短期間で済、システム導入後のスタートアップを早めます。

## 導入、その効果

MVPは、SD/HD両フォーマット対応で、収録した映像にあらゆる効果的な視覚効果をリアルタイムで付加すること可能にします。グラフィックス効果は全てリアルタイムで処理される為、ゲーム後のポスト処理の時間、費用的なコスト削減はもとより、ゲーム中であっても効果的な視覚効果を付加したクリップを簡単操作かつ短時間で生成可能でライブ中継のような場面においてもハイライトシーンなどをより効果的に見せることを可能にします。

「本システムを導入する事により視聴者に対しより視覚的に表現することが可能となり、より判りやすく且つ印象に残る解説が可能になったと思っています。」(吉澤氏)

放送事業に於いてスポーツやライブイベントは重要なコンテンツであり、その魅力を一層高めて価値あるものにするMVPシステムは、リアルタイム描画によりポスト処理での素材制作の効率化はもとより、収録されている映像であれば過去の素材であっても使用することが可能な適応範囲の広い映像制作システムです。



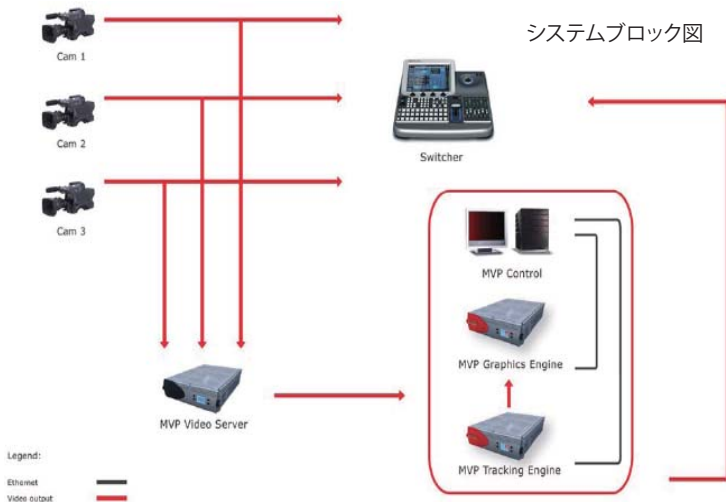
## 今後のシステム展望

「今後についても如何に視聴者に対し適切且つ分かりやすいグラフィックス表現が行えるかをテーマに本システムにて作成を行って行ければと考えております。」(吉澤氏)

放送事業に於いてスポーツやライブイベントは重要なコンテンツであり、その魅力を一層高めて価値あるものにするMVPシステムは、映像素材にグラフィックス効果をリアルタイムに付加する為、ポスト処理での素材制作の効率化はもとより、収録されている映像であれば過去の素材であっても使用することが可能な適応範囲の広い映像制作システムです。

今後コンテンツの価値を向上させることは、他との差別化だけに留まらずユーザーのニーズに応えるという意味でも重要であり、そのソリューションとしてのシステムへの期待が高まっています。

スタジオサブ  
&  
MVPシステム



ビジュアル・グラフィックス株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-27-11 祐真ビル本館 5F

Tel : 03-6805-0481 Fax : 03-3797-9771

URL : <http://www.vgi.co.jp> Email : [vgi@vgi.co.jp](mailto:vgi@vgi.co.jp)



Visual Graphics Inc.